

第2回基盤整備推進部会 主なご意見等

開催日時：平成29年4月24日（月）14:30～16:30

開催場所：浦和コミュニティセンター 第14集会室

出席者

選出区分	役職等
学識経験者	埼玉大学 大学院理工学研究科 久保田 尚 教授
鉄道事業者	東日本旅客鉄道 大宮支社 企画室長
鉄道事業者	東武鉄道 鉄道事業本部 計画管理部長
鉄道事業者	埼玉新都市交通 代表取締役常務
交通事業者	埼玉県バス協会 専務理事
交通事業者	東武バスウエスト 取締役 運輸統括部長
交通事業者	国際興業 運輸事業部 担当部長
交通事業者	西武バス 取締役 運輸計画部長
関係行政機関	埼玉県 企画財政部参事兼交通政策課長
関係行政機関	埼玉県警察本部 交通部 交通規制課 道路協議係長（代理）
関係行政機関	大宮警察署 交通課長 交通規制係長（代理）
関係行政機関	さいたま市 都市局 都市計画部長
関係行政機関	さいたま市 都市局 都心整備部長
関係行政機関	さいたま市 建設局 土木部長
オブザーバー	都市再生機構（東日本都市再生本部 事業企画部） 事業企画第2課長

■「歩行者ネットワーク」について

【⇒事務局からの回答】

- ・ 今後、既存の東西中央通路を 24 時間解放する予定はあるのか。
- ⇒必要に応じて鉄道事業者と協議していきたい。
- ・ 防災面に関しては、災害時に駅へ人が殺到することを防ぐために、鉄道事業者は運行情報を積極的に発信するなどの取組みを行っている。
- ⇒さいたま市では、今後、都市再生安全確保計画の策定を検討している。その検討内容についても、今後、共有していきたいと考えている。
- ・ 新たな東西通路に改札が設置されると、乗換時間は短縮されるのか。
- ⇒乗換時間は短縮されると見込んでいる。
- ・ 大宮駅が抱える課題の一つに「自転車の東西移動」があるが、新たな東西通路との関連はあるのか。
- ⇒東西通路における自転車通行については、通路の利用方法や駐輪場のあり方とあわせて今後整理していきたい。

■「駅前空間」について

【⇒事務局からの回答】

- ・ 空港バスの導入を検討していくとあるが、西口の路線を東口に集約するのか。それとも、東西で分散することになるのか。
- ⇒全て東口に集約するかは、検討する必要がある。
- ・ 交流空間とは、具体的にどのようなイメージなのか。
- ⇒規模としては 2000 m²程度を考えている。大宮は夏祭りなど様々な催しもあるため、様々な使い方が出来る空間として確保していきたいと考えているが、具体的にどういう空間としていくかは、まちづくり推進部会の意見を踏まえて検討していく。
- ・ 一般車が外縁部に集約される場合、中山道に交通が集中することが想定される。
- ⇒今後は、開発交通量予測を含めて周辺の道路ネットワーク検討を進め、対応施策についても提案させて頂きたい。
- ・ 路線バスについては、現状では朝夕のピーク時に飽和状態になっている。高速バス等については、将来的なバス需要の変化や高齢化も踏まえて考えていきたい。
- ⇒事務局としては、乗降場を工夫するなど、ハード施策とソフト施策を組み合わせ、バスバースを削減できる方策を検討したいと考えている。
- ・ バスの配置のアイランド案については、車道を乱横断してアイランドに向かう利用者が発生すると思う。歩行者と車両が錯綜しないような工夫が必要である。
- ・ 駅東西のツアーバス等が停車できる場所を検討して頂きたい。
- ・ バス配置の展開案については、運行ルートの変更がかなり生じる可能性がある。利用者にとっても不便になると思う。
- ・ 駅前広場と駅舎とのつながりはどうなっているのか。
- ・ 新たな東西通路の位置に合わせて、鉄道事業者が駅施設の位置を決めるので、まずは

まちづくりの視点から早急に通路の位置などについて決めてほしい。

- ・新たな東西通路は「通路」という位置づけなのか。仮に事件や苦情があった場合は、道路交通法が適応されるのか。管理者は誰で、境界はどこになるのか。通報時の対応を含めて教えて頂きたい。

⇒位置づけや管理方法等については、現在検討中である。

- ・土地の制約性や経済性の問題はどうか。

⇒基本的にはコンパクトな広場としていきたい。また、経済性についても検討が必要だと認識している。

- ・大宮駅で新幹線を降りた人から、まちがどのように見えるのか。そういったことも重要である。

以上